

この度、三俣山荘・水晶小屋の宿泊につきまして、サービスの見直し、料金の改定をいたします。

このような時期の改定というと、多くの方がコロナ禍による経営のひっ迫による値上げとお考えになるでしょう。昨年に見られたような利用者の減少に対応していくことはあります。それに加え、山小屋の緊急声明にありますように、山小屋が一翼を担ってきた登山文化を、いかに「持続可能性」なものにするかを掘り下げたことによります。

どういったらお客さまに快適で安全かつ、環境負荷の少ない方法を提供できるのか？この状況を模索する機会とわたしたちも捉え、昨シーズンより議論を重ねてきました。

将来にわたって山岳エリアにおける山小屋の付加価値を生み出し、お客さまと一緒にお客さまにより良いものを提供できるよう、下記を軸にサービスの見直し・料金改定をいたします。

## 記

- 1、お客さまに快適に、安全にご利用いただける宿泊規模・利用人数を新たに設定し、完全予約制に移行
- 2、オーバーユースによる登山道へのインパクト、ハイシーズンの宿泊環境を改善するために、平日料金を設定し、休日・連休に偏りがちであった利用者数を極力平準化する新料金に設定
- 3、登山道補修、遭難救助活動、診療班の維持、公共トイレの維持等、山小屋が担っている国立公園内のインフラ整備・維持を利用料金に算出し、加味
- 4、過酷な環境にさらされ、年々老築化が進む小屋の維持・再建費用を算出し、将来にわたり安全なサービスを提供できる長期事業計画を策定

以上

日本の国立公園における登山文化は経済的にも物理的にも存続の厳しい状況にあります。山岳環境の維持、登山文化の発展には、行政・事業者・利用者の協力体制が不可欠です。

さらに、急激に加速している気候変動に伴う地球環境の悪化に対し、山小屋としてもカーボンフットプリントの削減、環境保全への啓蒙等、保全の象徴となるべく全力で取り組んでいきます。

三俣山荘・水晶小屋の新しい取り組みをご理解いただきまして、引き続きのご支援、ご愛顧のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。